
付
録

厚木市の主な出来事

(市政施行～現在)

昭和30年(1955年)

- 2月 厚木町、南毛利村、睦合村、小鮎村、玉川村の1町4箇村が合併し、県下13番目の市として、厚木市が1日に誕生(市長執務執行者:足立原永助氏、面積56.50k㎡、人口31,295人)
第1回市長選挙、波多野元正氏初代市長に就任(投票率87.88%)
厚木市消防団を設置
市制施行祝賀駅伝競走大会開催
- 3月 厚木市の市章制度
- 4月 昭和30年度当初予算額1億4,041万9,000円
- 6月 相模大橋開通
- 7月 中郡相川村と愛甲郡依知村の2箇村が厚木市に編入(74.90k㎡)
第1回厚木市議会議員選挙(投票率90.43%)
- 10月 国勢調査人口39,409人

昭和31年(1956年)

- 2月 市政だより(現広報紙)の第1号発行
- 3月 玉川中学校増築工事が完成
- 9月 愛甲郡荻野村が厚木市に編入(面積92.69k㎡、人口44,652人)
- 12月 市主催東京大相撲開催

昭和32年(1957年)

- 3月 依知中学校第1棟新築工事、睦合中学校増築工事が完成
- 4月 市中央公民館(現厚木北公民館)が完成
- 9月 元町河川敷に総合グラウンド(現市営厚木野球場、市営水泳プール附近)が完成

昭和33年(1958年)

- 3月 依知中学校第2棟新築工事が完成
- 4月 新市建設5箇年事業がスタート
- 9月 広報活動充実のため、広報車を購入
台風21・22号が相次いで襲来し、各地で被

害を受ける

昭和34年(1959年)

- 2月 第2回市長選挙 石井忠重氏が県内最年少市長に就任
市内に初めてガス会社ができる
- 3月 小鮎小学校増築工事が完成
- 4月 工場誘致運動を強力に推進
- 8月 青少年非行化防止のため、愛の鐘を設置
台風7号が襲来し、大きな被害を受ける
- 10月 市に市民室を設けて、窓口事務の一本化を図る
- 12月 第1回厚木市農業まつりを開催

昭和35年(1960年)

- 2月 第1回市民の集いを開催
- 3月 工場誘致条例を制定(工場進出が一層活発になる)
荻野小学校増築工事が完成
市営住宅が完成(戸室に20戸)
- 4月 市役所機構改革(庁舎案内や各種相談の窓口を設置)
- 10月 国勢調査人口46,243人
- 12月 市消防常備隊を設置

昭和36年(1961年)

- 1月 市役所の公文書をすべて横書きに改正
厚木小学校・相川小学校完全給食開始
- 3月 厚木中学校特別教室増築工事完成
本厚木駅前土地区画整理事業が完成(約21.88ha)
- 4月 市役所機構改革(急激な工場進出と都市化で複雑になった行政事務の効率化を図る)
- 5月 厚木市青少年歌を制定
- 6月 救急車の寄贈により、消防における救急業務を開始
飯山金剛寺の阿弥陀如来坐像が国の有形文化財に指定される
- 8月 清掃事業の効率化を図るため、三輪ダンプ車を購入

- 10月 市に2級国道改修促進事務所を設置
- 12月 全小学校給食施設が完成
市中央公民館（現厚木北公民館）内に図書室を設置

昭和37年（1962年）

- 4月 市役所経理事務の改善（帳簿をやめてすべて伝票にする）
中津内陸工業団地の造成工事開始
- 5月 尼寺原住宅団地（現緑ヶ丘団地）の造成工事が開始
- 7月 市役所機構改革
- 8月 小鮎中学校が完成
- 10月 5万人目の市民誕生

昭和38年（1963年）

- 1月 中央通り防災街区モデル商店街の建築開始
県央一を誇る市内中学校最初の体育館が厚木中学校に完成
- 3月 尼寺原住宅団地（現緑ヶ丘団地）の造成が一部終了
中津内陸工業団地の造成が一部終了して、分譲開始（この年46社に分譲）
- 4月 厚木市消防本部及び厚木市消防署を設置
- 6月 市内長谷に衛生プラント（し尿処理場）が完成
- 7月 市内元町河川敷（旧総合グラウンド跡地）に市営水泳プール完成
荻野小学校に市内小学校最初の水泳プールが完成
尼寺原住宅団地（現緑ヶ丘団地）の造成終了
- 8月 市制施行後最初の満100歳長寿者誕生（下荻野、林イシ氏）
- 9月 市内元町河川敷にある市営プール前広場に鮎の塔が完成
- 11月 厚木愛川内陸工業団地の区画整理事業を開始（72.21ha）

昭和39年（1964年）

- 2月 厚木市民憲章制度
- 3月 南毛利中学校特別教室が完成

- 依知小学校を廃校
- 4月 依知南小学校開校・依知北小学校開校
- 8月 国道246号線（東京～沼津）が全線開通
- 10月 東京オリンピック聖火リレーが県内を通過
（厚木区は、茅ヶ崎高校前～上正寺前、厚木高校陸上部の生徒が市代表で参加）
- 12月 厚木第二小学校が完成（市内初めての鉄筋コンクリート校舎）

昭和40年（1965年）

- 1月 清水小学校増築工事完成
- 2月 市制施行10周年記念式典を開催
- 3月 依知南小学校新築工事完成
依知南小学校南分校を廃止
緑ヶ丘地区の区画整理事業を開始（約27.05ha）
- 4月 小鮎保育所開所
緑ヶ丘地区の住居表示を実施（緑ヶ丘1～4丁目）
- 6月 6万人目の市民誕生
東名高速道路厚木インターチェンジの建設工事開始
- 7月 厚木地区一部の住居表示を実施（中町、寿町、栄町、元町、松枝）
- 9月 市役所に第2庁舎（旧地方事務所）ができる
台風24号が襲来し、大きな被害を受ける
- 10月 国勢調査人口 61,388人
本厚木駅南部土地区画整理事業を開始（約28.88ha）
- 12月 元町河川敷に市営野球場（旧総合グラウンド跡地）完成

昭和41年（1966年）

- 3月 厚木市ごみ焼却場完成（処理能力30t/日）
菁莪小学校を依知北小学校に統合
中津内陸工業団地造成が完了
厚木地区一部の住居表示を実施（旭町、幸町、田村町）
- 4月 緑ヶ丘小学校開校
- 5月 昭和橋完成
- 6月 台風4号が襲来し、市制施行後最大の被

害を受ける
もぐり橋開通

- 9月 台風26号が襲来し、大きな被害を受ける
- 11月 市役所に初めて小型電子計算機が設置され事務処理の合理化を図る

昭和42年(1967年)

- 2月 市長選挙、石井忠重氏が再選
依知北小学校を北小学校と改称
県下のトップを切って市交通災害共済制度を実施
大雪が降り、市全体の交通が一時マヒする
- 3月 依知北小学校菁莪分教場を廃校
- 4月 北小学校が新校舎に移転
市内初の児童館(三田)開設
- 5月 4年間の歳月と10億円の巨費をかけた中央通り防災街区モデル商店街が完成
- 6月 市役所機構改革(行政組織の総合化と弾力性ある管理体制の確立を図る)
市内元町河川敷に市営庭球場が完成
- 7月 玉川小学校に水泳プールが完成
- 8月 小鮎小学校増築工事が完成
- 10月 市内で初めて本厚木駅前が交通規制される
- 12月 荻野新宿児童館開設

昭和43年(1968年)

- 2月 南毛利中学校体育館が完成
- 3月 7万人目の市民誕生
- 4月 市役所の分庁舎が更に一つ増え、第3庁舎(旧県繭検定所)ができる
旧菁莪小学校跡地に県中央青年の家が完成
東名高速道路(東京～厚木間)が開通
- 7月 南毛利小学校に水泳プールが完成
- 11月 市内における各種開発行為を適切に進めるため、市開発指導要綱を制定
明治百年記念市民文化祭を開催
- 12月 市ごみ焼却場増設工事が完成(処理能力20t/日・合計処理能力50t)
玉川保育所を開所、緑ヶ丘小学校増築工事、睦合中学校体育館が完成

昭和44年(1969年)

- 2月 市の木(もみじ)、市の花(さつき)を制定
厚木市第三次総合計画を策定
- 3月 酒井に市食肉センター、緑ヶ丘児童館完成
国道271号線(小田原・厚木道路)が開通
厚木市家庭のしつけを制定
市内初の老人憩の家(愛名)が完成
- 4月 市主催による市民の公共施設めぐり始まる
相川中学校を東名中学校と改称
公共下水道事業に着手
- 5月 県立厚木病院内に交通救急センターが完成
東名高速道路全線開通
- 7月 市内全域にわたりごみ収集ができるようになる
小鮎小学校水泳プールが完成(市内初の銅板プール)
- 8月 国道129号線(厚木バイパス)が開通
- 10月 市役所第3庁舎が旧県繭検定所から旧県立厚木東高校跡地に移転
林中央地区土地区画整理事業開始(約4.3ha)

昭和45年(1970年)

- 1月 小鮎中学校火災により一部校舎を焼失
- 2月 東名中学校新築工事が完成
山際児童館が完成
- 3月 旧県立厚木東高校跡地に厚木小学校新築工事、小鮎公民館新築工事、依知中学校体育館、温水児童館、旧厚木小学校跡地に市福祉会館が完成
- 4月 東名中学校が新校舎に移転
8万人目の市民誕生
上荻野まっかげ住宅団地の造成始まる
厚木北公民館新築工事が完成
- 5月 旧県立厚木東高校跡地に厚木小学校が移転
厚木小学校に体育館が完成(旧県立厚木東高校体育館の譲渡を受ける)
- 6月 市内全域の線引きを実施(市街化区域と市街化調整区域に分ける)
- 7月 北小学校と相川小学校に水泳プールが完成
- 8月 酒井の相模川河川敷に県厚木スポーツ広場が完成
- 10月 国勢調査人口 82,894人
- 11月 旧厚木小学校跡地に市営臨時駐車場を設置

- 第1回産業まつりを開催
- 12月 旧県繭検定所跡地に市の新庁舎が完成（現市役所、延べ面積9,016㎡）

昭和46年（1971年）

- 1月 関口に長坂老人憩の家が完成
- 2月 市長選挙、石井忠重氏が再選
厚木第二小学校増築工事が完成
- 3月 厚木小学校増築工事、緑ヶ丘小学校増築工事、南毛利公民館新築工事、上戸田児童館が完成
- 4月 市役所機構改革
生活環境の保全と健康の保護を図るとともに市民の声を積極的に市政に反映
厚木南公民館、緑ヶ丘公民館を新築
記録映画「厚木市」完成
広報あつぎを月2回発行とする
- 5月 市内に初めて光化学スモッグの徴候
- 6月 旧県立厚木東高校跡地に市立図書館が完成
- 7月 依知南小学校、三田小学校、厚木第二小学校及び緑ヶ丘小学校に水泳プールが完成
厚木流通団地の造成始まる（約20.58ha・区画整理事業）
- 8月 集中豪雨が襲来し、被害を受ける
- 10月 厚木市衛生プラント（し尿処理場）の改造工事が完成
厚木市総合計画（改正）を策定
- 11月 鳶尾住宅団地の造成始まる（約8,767ha・区画整理事業）

昭和47年（1972年）

- 1月 中町一番街で歩行者天国開始
相川公民館新築工事が完成
- 2月 9万人目の市民誕生
及川児童館、小野児童館、愛甲原児童館、厚木市斎場（火葬場）、小鮎中学校体育館、上古沢老人憩の家、清水小学校増築工事が完成
- 4月 市役所機構改革、急速に進む都市化に対応し、増大する市民の行政需要に対応する
県下初の交通遺児への奨学金制度を制定
- 6月 吾妻町の住居表示を実施
- 7月 集中豪雨が襲来し、大きな被害を受ける

市内寿町3丁目に消防新庁舎、厚木小学校水泳プールが完成

- 9月 台風20号が襲来し、大きな被害を受ける
上荻野まつかけ住宅団地造成終了
- 11月 中高層ビル火災に備えてハンゴ車を購入
- 12月 旧厚木郵便局内に休日診療所「厚木メジカルセンター」が開所

昭和48年（1973年）

- 1月 小田急線本厚木駅改造と線路、道路の連続立体化工事が始まる
- 2月 下古沢老人憩の家が完成
- 3月 市道舗装率全市道の1/4を突破（26%）
上荻野児童館、戸室児童館、東名中学校体育館、玉川公民館新築工事、南毛利中学校増築工事が完成、林中央地区土地区画整理事業が終了
- 4月 第1回厚木市緑化祭を開催
- 5月 市役所テレホンサービスを開始
相川保育所が完成
スポーツ振興のため、市立小・中学校体育館を一般開放
- 6月 公共下水道厚木排水区一部処理開始
妻田中村前土地区画整理事業開始（約12.86ha）
吾妻町に初めての中層市営住宅が完成（20戸）
相模川流域下水道が通水
- 7月 三田小学校新築工事、睦合中学校水泳プールが完成
荻野小学校下分校を廃校し、三田小学校に統合
毛利台団地の造成開始
- 8月 三田小学校が新校舎に移転
- 9月 10万人目の市民誕生
- 10月 厚木市流通団地の造成終了
市子ども広報第1号発行（年3回）
市役所機構改革 近代都市づくりに必要な下水道、都市開発部門の強化を図る
- 12月 市役所節約運動を実施
本厚木駅前防災建築街区Aブロックが完成

昭和49年（1974年）

- 1月 市役所に生活物資相談所を開設
節約運動実施中につき恒例の消防出初式は中止
- 2月 第1回徳育振興大会を開催（厚木市親孝行都市宣言を決議）
林地区一部の住居表示を実施（王子1～3丁目）
- 3月 市環境整備工場（ごみ焼却場）が完成（処理能力150t/日）
厚木南児童館、浅間山児童館、北部学校給食センター（1日9,000食）・岡田老人憩の家、南毛利小学校、南毛利中学校、清水小学校増築工事、荻野中学校体育館、もみじ保育所が完成
- 4月 市役所機構改革
第2回徳育振興大会を開催（親孝行都市宣言）
- 7月 相川小学校増築工事が完成
新設戸室小学校用地内に弥生古墳時代の住居跡が発見され、この遺跡発掘が始まる
- 8月 第1回厚木市果樹まつりを開催
台風14号が襲来し、被害を受ける
- 9月 台風16号が14号に続いて襲来し、被害を受ける
第1回厚木市孝養賞表彰式を開催
- 11月 飯山自然公園内に戦没者慰霊塔が完成
県内のトップを切って第1回市民朝市を開催
- 12月 小田急線本厚木駅立体交差化事業下り線が開通

昭和50年（1975年）

- 2月 市制施行20周年記念式典を開催（併せて20周年記念誌を発行）
飯山中部児童館、林老人憩の家、緑ヶ丘公民館新築工事が完成
市長選挙 石井忠重氏県内初の5選、市長に再選
- 3月 七沢児童館が完成
睦合公民館内に郷土資料室を設置
依知南小学校増築工事、清水小学校増改築工事、厚木北公民館新築工事、南毛利保育所、厚木市不燃物処理場が完成
- 4月 及川住宅団地の造成始まる

市制施行後初めて人口が減少（対前年比）

- 5月 小田急東名厚木住宅団地にひまわり児童館が完成
市内小中学校児童生徒を対象に学校事故救済制度を制定
- 6月 老人のための明るい町づくり推進都市（シルバーシティ）の指定を受ける（全国で9市）
市役所に不用品バンクを開設
市民会館建設整地工事に着手
- 7月 緑の条例を制定し、緑化事業を更に推進
厚木市環境保全公社設立
- 8月 戸室小学校開校
市内上古沢に縄文時代の住居跡を発見、発掘調査を始める
- 10月 国勢調査人口 108,955人、農業就業人口全人口の10%を割る（昭和30年 54%）
県立高校の誘致促進と老人のための明るい町づくり推進（シルバーシティ）を決議
- 11月 市民文化賞制度を制定
シルバーシティ推進事業の一つ「生きがい広場」開園

昭和51年（1976年）

- 1月 老人のための明るい町だより「しあわせあつぎ」創刊号発行
老人専用マイクロバス「シルバーシティ号」運用開始
小田急線本厚木駅立体交差化事業上り線が開通及び本厚木駅南口広場完成
- 2月 南毛利・睦合両地区の人口が厚木地区の人口を上回る
11万人目の市民誕生
- 3月 下古沢児童館、小鮎保育所、関口老人憩の家、睦合中学校増改築工事が完成
交通事故激増に対応して市に交通事故緊急対策本部を設置
鳶尾住宅団地一部造成が終了
- 4月 市内小・中学校児童生徒数15,000人を突破（全人口の13.8%）
愛甲小学校開校
妻田小学校開校（仮校舎、清水小学校内）

- 市役所屋上に2代目愛の鐘を設置
- 5月 先人のおしえを聞く会を開催
厚木中学校増改築工事が完成
- 6月 市独自に農産物の価格補償制度を制定
及川住宅団地の造成終了
小田急線本厚木駅の新駅舎が完成
- 7月 市民生活を豊かにするため、市役所に市民
経済振興プロジェクトチーム誕生
厚木市が交通事故全国死亡者のワースト1
位
毛利台団地一部造成完了
- 8月 妻田小学校新築工事が完成移転（清水小学
校内から）
市福祉会館前に蒸気機関車D51-1119号を
設置
- 9月 昭和51年度～昭和55年度、市総合計画策
定
- 10月 市の交通災害共済加入率全人口の6割を超
える（県下12市実施、加入率は第3位）
- 11月 厚木市緑の銀行開設
第4回徳育振興大会「ありがとう運動推
進」を決議

昭和52年（1977年）

- 1月 葬祭簡素化を実施
本厚木駅に市役所駅連絡所を開設
本厚木駅北口広場整備事業に着手
- 2月 南毛利地区毛利台団地の住居表示を実施
（毛利台1～3丁目）
老人福祉映画「心のまち老人の四季」を作
成
- 3月 市民会館建設工事に着手（3年計画）
荻野地区に厚木市消防署荻野分署・飯山観
音境内に畜産供養塔、D51広場にD51展
示室新設
荻野中学校増築工事、愛甲小学校に水泳プ
ールが完成
荻野地区鳶尾住宅団地の住居表示を実施
（鳶尾1～5丁目）
- 4月 南毛利小学校増築工事が完成、林中学校開
校、鳶尾小学校開校
国道129号（厚相バイパス）開通
厚木市緑を豊かにする事業推進要綱を制定
- 6月 市内初めての厚木市高齢者事業団が発足

- 高齢者の就業活動を促進
- 7月 全国で初めてのガン（胃ガン、子宮ガン、
乳ガン、肺ガン）集団検診を実施
荻野小学校増築工事が完成
- 10月 本厚木駅北口広場オープン
厚木町の旧市役所跡に史跡「烏山藩厚木役
所跡」の記念碑を建立
市制施行後2人目の満100歳長寿者誕生
（飯山、川田ベン氏）
- 11月 市広報縮刷版を発行（1号～300号）
- 12月 12万人目の市民誕生
県内の自治体のトップを切って「市民の長
寿を祝う要綱」を制定

昭和53年（1978年）

- 1月 政府の米需給均衡化対策実施に伴い、厚
木市水田利用再編対策協議会が発足
- 2月 第5回徳育振興大会「自覚を高める運
動」を決議
厚木保育所新築工事が完成
- 3月 依知地区金田神社境内に金田老人憩の
家、鳶尾住宅団地内に荻野公民館、依知
公民館改築工事
小鮎小学校増築工事、藤塚児童館、毛利台
児童館完成
依知中学校本校舎が完成（現依知小学校）
小田急線と営団地下鉄千代田線の相互乗り
入れ開始（厚木～都心～綾瀬間の直通化）
- 4月 全国でも珍しい飼いネコの登録制度を開始
国道271号線（小田原・厚木道路）の平
塚・厚木間が4車線に拡幅
厚木市老人福祉センター開館
市内11箇所を「ふるさとの森」に指定
し、緑の保全に努める
東名高速道路が開通後満10年（利用台数
延約6億9,000万台）
- 7月 市内の全居住者を対象に住民実態調査を実
施
- 8月 緑ヶ丘小・厚木中学校に夜間照明施設を設
置
- 9月 自治会単位に災害時の防災組織づくりを推
進
緑を増やす保存生けがき奨励金制度発足
（第1次として15戸指定）

市制施行後初の90歳以上の夫妻誕生（三橋誠一、マサ夫妻）

- 10月 移動図書館車「わかあゆ号」を購入
- 11月 厚木市文化会館がオープン
- 12月 交通事故絶滅を図って「市民総ぐるみ大会」を開催

昭和54年（1979年）

- 1月 年間増加人口市制施行以来最高の8,391人の伸びを記録
本厚木駅の1日平均運搬収入が沿線駅中第3位、1日平均の乗降客は6位（小田急電鉄会社要覧）
- 2月 市長選挙 足立原茂徳氏が初当選
新幹線仮称相模駅促進協議会が調査報告書をまとめる
- 3月 車椅子のまま乗降できるマイクロバスを購入
公共下水道管の総延長が約143km、処理能力面積は約618ha、普及率対人口比20%を超える
末日に市の人口13万人を突破
王子児童館、宮本老人憩の家、厚木南公民館が完成
- 4月 玉川中学校が新校舎に移転
福祉会館が心身障害者専用施設に改装オープン
市街化区域、市街化調整区域の線引きの変更
車椅子専用車ひばり号運行開始
市消防署南毛利分署が完成
厚木商工会議所が創立30周年を迎える
- 6月 市青少年相談室でヤングテレホン相談「希望の電話」を開設
中町地区の再開発事業約1.5haの計画決定
災害に備えて市では防災用行政無線局（移動系）を開局
- 7月 本市始まって以来の大規模な機構改革と人事異動により、全国初の市民文化室と女性課長の誕生
初の市民対話集会在が尾地区で開催
- 9月 「新総合計画」策定に当たり市民参加の一環として市民意識調査を実施
休日夜間診療所がスタート

老人医療費の助成年齢68歳に引き下げ
市営住宅（吾妻団地）鉄筋コンクリート5階建1棟20戸が完成

- 10月 依知中（現依知小）・荻野中学校に夜間照明施設設置
学識経験者15人による文化行政懇話会を設置
台風20号が襲来し、小鮎川の堤防決壊等大きな被害を受ける
- 11月 市民意識調査の結果、厚木市に永住したい人は10人中9人と多くの人が希望
市長と少年少女との対話のつどいを開催（こども会議）
- 12月 「社会福祉基金」制度を創設
市民朝市100回を迎える

昭和55年（1980年）

- 1月 市長と婦人との対話のつどいを開催
南部学校給食センター完成
- 2月 依知・荻野の両公民館に市役所連絡所を開所
365日夜間救急診療を開始
妻田中村前南部土地区画整理事業開始（約4.7ha）
- 3月 県下初めて市立図書館で身体障害者図書郵送貸出制度を実施
厚木第二小学校体育館が完成
有リン合成洗剤の追放を市議会が決議
14万人目の市民誕生
- 4月 米飯提供者の登録など県から市に権限委譲
毛利台小学校開校、上荻野小学校開校（仮校舎、荻野小学校内）、まつかげ台・中戸田児童館と消防依知分署が完成
- 5月 尼寺老人憩の家が完成
- 6月 森の里地区（特定）の土地区画整理事業を開始
- 7月 総合計画策定に伴う地区集会在を9地区で開催
玉川小学校鉄筋新校舎の完成、厚木・依知の両中学校にプール、愛甲小学校に夜間照明施設が完成
文化イメージ調査の結果の色彩は緑と青
- 8月 全児童館にちびっ子図書館を開設
中町地区第1再開発事業の工事着手

- 文化行政懇談会「第三の道をもとめて」を提言
上荻野小学校が完成（荻野小学校内から移転）
- 9月 昭和56～65年度厚木市総合計画策定
第1回あつぎ商工観光まつりを開催
- 文化行政推進プロジェクトチーム（市職員）が「文化行政の道を模索して」を提言
- 10月 国勢調査人口 145,392人、県下第2位の増加率33.4%
初の女性教育委員誕生
市長と中学生との対話のつどいを開催
第一次市民訪中団26人が上海・北京市など訪中し友好を深める
市営玉川野球場が完成
- 11月 第1回厚木市技能功労者表彰式を開催
- 12月 市制施行後3人目の満100歳長寿者誕生（山際、河上喜久氏）
市役所来庁者駐車場を休庁時に有料化

昭和56年（1981年）

- 1月 市制施行後4人目の満100歳長寿者誕生（妻田、藤井モリ氏）
- 2月 第1回技能職者の芸能祭を開催
再開発事業中町立体駐車場工事着工
相川小学校体育館完成
- 3月 本厚木駅南部地区の住居表示を実施（泉町・中町4丁目、旭町1丁目、2丁目）
玉川保育所、緑ヶ丘老人憩の家、吾妻町児童館、上落合児童館、毛利台小学校完成、三田小学校、清水小学校増築工事完了
- 4月 豊かな自然と文化の調和した住みよいまちを目指して、厚木市新総合計画がスタート
国道246号線（船子バイパス）開通
睦合南公民館開館
市内小学校米飯給食開始
- 5月 81年国際障害者年地域福祉を考えるシンポジウムを開催
第1回市民スポーツレクリエーションフェスティバル開催
第1回厚木市住民自治の集いを開催
下依知地区（特定）区画整理事業開始（約

23.29ha）

- 6月 15万人目の市民誕生
- 7月 市役所機構改革
厚木市立図書館満10年を迎え蔵書数10万3千冊を超える
- 8月 三田小学校に夜間照明施設完成
- 9月 第1回文化講演会を開催
- 10月 南毛利分署で救急業務を開始
第二次市民訪中団を中国上海、揚州市に派遣
- 11月 旧厚木小跡地に厚木ガーデンシティビルが完成
市民ギャラリーが厚木ガーデンシティビル7階にオープン

昭和57年（1982年）

- 1月 カラオケ騒音の規制を強化
- 2月 本厚木駅南口広場の近くに「厚木都市計画本厚木駅南部土地区画整理事業完成記念碑」が建立
酒井三田地区区画整理事業開始（約3.2ha）
- 3月 厚木小学校、厚木第二小学校、相川公民館に東海地震発生に備えコンテナ式備蓄倉庫を設置
中町第2-1地区再開発事業開始（約1ha）
小田急線本厚木駅ビル完成
愛甲公民館、妻田児童館、小松台児童館、七沢老人憩の家が完成
玉川小学校、荻野小学校、三田小学校の体育館が完成
- 4月 相川分署が業務を開始
森の里に青山学院大学が開校
- 5月 災害に備え防災行政無線局（固定系）を開局
和田傳氏の文学碑、水引1丁目の緑道に完成
- 7月 地域文化の創造と発展を考える会が各地区に発足
市環境整備事業所が金田に完成（処理能力322t/日）
- 8月 台風10号が襲来し、座架依橋が流失
- 9月 厚木市まちづくり委員会が発足
- 10月 鷲尾山ハイキングコース（全長1,943m）

開通

アメリカ、ニューブリテン市長夫妻来厚
第3次訪中団が上海、蘇州、揚州、南京、
西安、北京の各市を訪問

- 11月 16万人目の市民誕生
文化会館小ホールオープンにより全館完成
- 12月 婦人会館・保健センターがオープン

昭和58年(1983年)

- 1月 市営旭町自転車駐車場がオープン(第1号)
- 2月 仮称「中荻野団地」地区が、住居表示の実施により「宮の里」となる
中国揚州市の「友好都市訪日団」来厚
- 3月 中町北地区再開発事業開始(約0.4ha)
千頭老人憩の家、厚木北児童館、上依知児童館完成
森の里第2地区(特定)区画整理事業開始(約9.0ha)
- 5月 中国人民対外友好協会江蘇分会訪日団来厚
「厚木市民友好訪米団」ニューブリテン市を訪問し、友好都市締結調印
- 9月 「子どもの将来を考えるつどい」を開催
米国ニューブリテン市との友好都市交流事業の第1号として訪米団を派遣
「厚木市民友好都市調査団」中国揚州市を訪問
- 10月 市役所分庁舎を設置
「揚州市経済視察訪日団」来厚
- 11月 第1回健康まつり・婦人会館フェスティバルを開催
「厚木市経済交流調査団」を中国揚州市に派遣

昭和59年(1984年)

- 1月 38年ぶりの大雪(19日から2月17日まで7回の積雪)
- 4月 生きがいセンター、上落合老人憩の家完成
飯山小学校開校、藤塚中学校開校
小鮎分署が業務を開始

- 5月 酒井三田土地区画整理事業完成
- 6月 自転車の放置防止に関する条例可決
- 7月 中国揚州人形劇団来厚

- 8月 睦合北公民館完成
起震車購入
- 9月 17万人目の市民誕生
- 10月 中町地下道、厚木バスセンター完成(延長161m、幅員8m厚木バスセンター面積5200㎡、9箇所のバス発着所)
中国揚州市と友好都市締結調印
中国揚州展開催
- 11月 市営自転車駐車場オープン(泉町、幸町、旭町1丁目)
- 12月 勤労福祉会館(厚木シティプラザ5階)、ヤングコミュニティセンターオープン

昭和60年(1985年)

- 1月 市制施行30周年記念県央厚木駅伝競走大会
東部第一地区再開発事業開始(約0.4ha)
- 2月 厚木シティプラザ全館オープン
厚木市環境センター建設に着手
- 3月 石井忠重氏、松川サク氏、和田傳氏が名誉市民に決まる
森の里地区で住居表示を実施(森の里若宮、森の里青山、森の里1丁目)
- 4月 片平老人憩の家完成
森の里小学校開校
厚木サンパークオープン(地上6m、2500㎡の広場)
- 5月 横手市と友好都市締結
市制30周年記念式典を開催
- 6月 市史第1巻を発刊(地形地質編、原始編)
- 7月 日本語住民情報オンラインシステム導入
厚木市相模川利用計画策定
- 8月 一人暮らし老人の緊急通報システム導入
第1回消防団消防操法大会開催
- 9月 市内66箇所で防災訓練を実施(全市199自治会参加)
厚木市総合計画後期基本計画を策定(S61~H2年度)
- 10月 国勢調査 人口175,600人
昼間人口比率115.8 県下の市レベルで1位
森の里に若宮公園がオープンし、揚州市か

ら贈られたあずま屋「風月亭」完成
市制施行 30 周年記念厚木マラソン大会開
催、1,134 人が参加
名誉市民の和田傳氏永眠

- 11 月 寿図書館（現郷土資料館）装いを新たに
オープン（子ども図書館と郷土資料展示室
を設置）
船子土地区画整備事業が完成
名誉市民和田傳氏の厚木市市葬を文化会館
にて実施
- 12 月 市道本厚木松枝線県央初の無電柱化へ工
事着工（230m）
広報あつぎ 500 号を発行

昭和 61 年（1986 年）

- 2 月 長谷土地区画整理事業完成
- 3 月 郵政省テレトピア構想のモデル都市に指
定される（全国で 19 市が指定）
記録的な大雪で大きな被害を受ける
四季の森で植樹祭を実施（市民の手で
1,700 本の桜の苗木植樹）
森の里地区住居表示を実施（森の里 2～3
丁目）
中戸田老人憩の家完成
- 4 月 森の里中学校開校
市民活動保険（ふれあい保険）スタート
- 5 月 本厚木駅連絡所に観光案内所開設
飯山白山森林公園完成
横手市と災害協定を締結
横手と厚木の物産展を開設
- 6 月 子ども教育相談センター開設
- 7 月 中央通りにモニュメント完成（8 基の彫
刻を設置）
国際平和年記念「あつぎ国際平和のつど
い」開催
- 9 月 六都県市合同防災訓練開催（インター南
部区画整理地区内 中曽根首相参加）
公共下水道普及率 50%突破
18 万人目の市民誕生
依知中学校新校舎（中依知）完成移転
才戸橋架替工事完成
- 12 月 第 1 回和田傳文学賞決まる 164 人が受賞
名誉市民の松川サク氏永眠

昭和 62 年（1987 年）

- 1 月 名誉市民松川サク氏の合同葬が文化会館
で行われる
- 3 月 建設省からインテリジェント・シティ指
定都市の指定を受ける
- 4 月 依知小学校開校（依知中学校旧校舎）
旅券事務所厚木支所オープン
- 6 月 七沢自然教室オープン
県央やまなみサミットが開かれ、広域観光
圏や道路整備を討議
まちづくり提案競技入賞者決まる（応募
87 点）
- 7 月 （株）厚木総合情報センター（AINET）を
設立
- 10 月 愛甲石田駅北口整備事業完成
婦人問題懇話会発足
- 11 月 森の里野外ステージで「ふれあい音楽祭」
開催
市内 11 連絡所へファクシミリサービスを
開始
ゴミ焼却施設「環境センター」完成（処理
能力 327 t/日）
- 12 月 愛甲石田駅の橋上駅舎が完成

昭和 63 年（1988 年）

- 1 月 市内在住の芸術家による作品を集め「あ
つぎ美術展」を開催（7 人 50 点）
- 2 月 中央図書館が開館 3 周年を迎え、記念行
事が行われる
厚木市民朝市 500 回を迎える
- 3 月 婦人問題懇話会から 100 の提言がされる
中央図書館が図書館叢書第 1 集「和田傳
生涯と文学」を発行
ふれあい農園がオープン
荻野公民館上荻野分館、船子老人憩の家、
酒井老人憩の家完成
- 4 月 愛甲石田駅周辺を自転車放置禁止区域に
指定
戸田小学校、睦合東中学校開校
市長への手紙制度スタート
県からの委任を受け、市で開発許可などの
事務を開始
燃えるゴミ週 3 回収集

- 県立七沢森林公園の一部オープン
- 5月 友好都市中国揚州市から虞振新市長が来厚
あつぎ童謡のつどい開催
- 6月 地域情報化の未来を話し合う「'88 地域情報化厚木セミナー」開催
- 7月 (株) 厚木総合情報センターがキャプテンサービスをスタート
県立七沢弁天の森キャンプ場にバンガロー完成 (19 棟)
- 8月 友好都市中国揚州市から女子ソフトボールチームが来厚
厚木中央公園地下駐車場の工事に着手
男女共同参加型社会を目指し、「厚木女性プラン策定委員会」が発足
- 9月 エレクトロニクスを駆使した薪能「森の里芸術祭'88」を開催
中学校外国英語指導助手を配置 (2 人)
中国揚州市から農業交流視察団が来厚
荻野神社のイチョウを市の天然記念物に指定
- 10月 「(仮称) あつぎ 21 世紀プラン」策定に伴う市民意識調査を実施
山際老人憩の家完成
文化会館 10 周年記念創作舞踊「あつぎ六勝」を講演
- 11月 総合福祉センター建設工事に着手
市役所の電話をビル電話に改善
- 12月 東京農業大学厚木中央農場の一部 (約 101,000 m²) を公共用地に買収
森の里地区住居表示を実施 (森の里 4 丁目)

昭和 64 年・平成元年 (1989 年)

- 1月 環境センター余熱利用施設建設工事に着手
「あつぎ女性プラン 21」を策定
「厚木のむかしむかしかみしばい」の第 1・2 巻を刊行
- 2月 市道川に親水性護岸が完成
国内友好都市横手市の「雪まつり」に市民 30 人が参加、かまくらづくりを楽しむ
- 3月 郵政省からハイビジョン・シティ構想モデル都市の指定を受ける

- 横浜博覧会に“未来接近あつぎ再発見”と題して厚木ブースを出展
第 1 回松川サク工業賞決定 (6 人の大学生)
- 下依知老人憩の家完成
- 4月 多極法により業務核都市に位置付け
厚木市シルバー人材センターが発足
19 万人目の市民誕生
- 5月 28 人の「お年寄り名人」選ばれる
- 6月 (株) 厚木総合情報センターの最適列車案内がグランプリを受賞
市役所業務の土曜開庁始まる (第 2・第 4 土曜日)
- 7月 市の大幅な機構改革が行われる
厚木市史「中世資料編」を刊行
- 8月 中国揚州市友好都市締結 5 周年記念式典・物産展、歌舞団公演などを開催
市内最高齢者渡辺ゴン氏 103 歳を迎える
- 9月 「農業後継者婦人のつどい」を開催
郵政省からテレコムタウン調査対象都市に選定
- 10月 中央図書館で CD (コンパクトディスク) の貸出し始まる
厚木南地区の住居表示実施 (南町)
荻野運動公園の競技場とテニスコートがオープン
「婦人問題移動セミナー」を 5 地区で開催
- 11月 「厚木のむかしむかしかみしばい」の第 3・4 巻を刊行
「あつぎ 21 世紀プラン市民シンポジウム」開催
中国揚州市友好都市締結 5 周年記念「市民訪中団」184 人が訪中
「男・女ライフシンポジウム」開催
藤塚老人憩の家オープン
上荻野東部地区土地区画整理事業開始 (約 34.81ha)
林地区土地区画整理事業開始 (約 30.37ha)
- 12月 森の里に新町名「森の里 5 丁目」を追加
荻野公民館上荻野分館に市役所連絡所を開設
温水老人憩の家、長谷老人憩の家オープン
森の里地区住居表示実施 (森の里 5 丁目)

平成2年(1990年)

- 1月 文化会館事業協会制作の「崑山画譜—あつぎ六勝」が文化庁から表彰
東部第二地区再開発事業開始(約0.6ha)
- 2月 市道赤坂津古久環状線が開通
飯山長谷寺の銅鐘が県の重要文化財に指定
中村雨紅展の開催と「中村雨紅の足跡」が出版される
「教育を考える対話のつどい」開かれる
第53回国民体育大会の誘致準備委員会発足
- 3月 下小鮎橋架替工事完成
妻田地区の一部の住居表示を実施(妻田南1丁目、妻田東1~3丁目)
- 4月 教育委員会に国体準備室を設置
相川公民館・相川保育所新築移転オープン
環境センター余熱利用施設「ふれあいプラザ」オープン
中依知児童館オープン
- 5月 相模川三川合流点で「県・市合同水防演習」開催
友好都市代表訪米団がニューブリテン市を訪問
- 6月 情報通信に対し積極的な取り組みが評価され、厚木市が郵政大臣から表彰される
「地域情報シンポジウム」が開かれる
- 7月 厚木一番街にモール完成
総合計画審議会から「あつぎ21世紀プラン」を答申
- 8月 鮎まつりで3人の“第1回ミスあつぎ”が選ばれる
市内最高齢者、渡邊ゴン氏104歳を迎える
婦人会館の利用者50万人を突破
- 9月 「あつぎ21世紀プラン」基本構想を策定
揚州市から初の青年訪日団来厚
- 10月 国勢調査人口 197,283人
道路交通緊急対策室を設置
- 11月 総合福祉センターオープン
中国揚州市から呂新奎市長初来厚
「あつぎどうぶつフェスティバル」開催
常備消防30周年記念式典
妻田地区の一部の住居表示を実施(妻田南2丁目、妻田西1~3丁目)

寿町三丁目地区再開発事業開始(約0.5ha)

子ども科学館にハイビジョン・シアターを常設

- 12月 「ヤングコミュニティセンターフェスティバル」開催
「第九を歌う県民のつどい」厚木で開催
高坪地区の区画整理事業を開始(約14.61ha)

平成3年(1991年)

- 1月 中央図書館主催「おひぎにだっこのおはなし会」の参加者1万人を突破
中町二丁目B地区の再開発事業を開始(約0.5ha)
- 2月 市長選挙 足立原茂徳氏が再選
七沢自然教室利用者10万人を突破
- 4月 「あつぎ21世紀プラン」スタート
厚木中央公園地下駐車場と防災備蓄倉庫及び駐車場案内システム完成
消防陸合分署完成
- 5月 長さ137メートル「サンデッキ」完成
第2回あつぎ童謡のつどい開催
第1回福祉機器フェア開催
- 6月 厚木サテライト・プラザ開催
中日友好都市市民交流週間7団体110人が中国揚州市を訪問
- 7月 20万人目の市民誕生
及川児童館・老人憩の家オープン
鳶尾児童館・老人憩の家オープン
- 8月 集中豪雨で大きな被害に見舞われた中国揚州市へ市民の善意680万円を送付
第1回生き生きふれあう女性の夜店開催
- 9月 「厚木市生涯学習推進シンポジウム」開催
台風18号による大雨のため、市始まって以来の被害を受ける(死者1名、家屋の倒壊4件、床上浸水6件、その他合計370件)
全国生涯学習まちづくり研究会を厚木で開催
- 10月 あつぎ福祉モニター制度発足
- 11月 ニューメディア・フェア'91開催
妻田地区の一部の住居表示を実施(妻田

北1～4丁目)
荻野運動公園に多目的広場・花原仮オープ
ン
厚木ふるさと大学開催

平成4年(1992年)

- 1月 七沢自然教室にハイビジョンを設置
- 3月 国道412号(上荻野バイパス)の一部
(戸室～及川)が開通
- 4月 戸室老人憩の家オープン
新座架依橋開通
- 5月 外国人相談を開設
- 7月 情報公開制度・個人情報保護制度スター
ト
消防玉川分署・東丹沢七沢観光案内所完成
中町地下道延伸部分開通
国道129号線昭和橋の改修工事完成
- 8月 健康の道(恩曾川コース・玉川コース)
を設置
道の日フェア'92開催
- 9月 日中国交正常化20周年記念訪中団が揚州
市等を訪問(8団体、115人)
本厚木駅にエスカレーターが設置
- 10月 小鮎公民館新築移転オープン
(株)厚木テレコムパーク設立
- 11月 故甘利正氏に名誉市民彰を追贈
下川入児童館オープン
第1回外国人と市民の運動会開催
岡田地区の一部の住居表示を実施(岡田1
～5丁目)

平成5年(1993年)

- 2月 第47回郡市対抗駅伝競走大会で厚木市が
初の準優勝
- 3月 電話で生活情報を提供“あつぎテレホン
ガイド”スタート
厚木サテライト・ビジネス・パーク着工
鳶尾山観光展望台が完成
- 4月 相川小学校が岡田に移転開校
荻野運動公園野草園オープン
国際平和と核兵器廃絶を求める都市を宣言
市役所駅前連絡所前に厚木市案内システム
を設置

- 5月 厚木市・ニューブリテン市友好都市締結
10周年記念祝賀会開催
“厚木女性会議”が設立
七沢自然教室に“童謡の丘”完成
キャプテンにおける図書館情報システムを
開始
- 8月 厚木中央公園の一部オープン
七沢自然教室に集会棟完成
- 9月 動物フェスティバル「神奈川'93inあつ
ぎ」開催・
文化会館15周年記念「NHKのど自慢」を公
開放送
- 10月 環境フォーラム'93「今日のごみ問題を考
える」開催
粗大ごみの有料化がスタート
- 11月 荻野運動公園体育館オープン
愛甲石田駅前連絡所オープン

平成6年(1994年)

- 2月 厚木市老人クラブ連合会創立30周年記念
大会開催
8年ぶりの大雪
- 3月 (財)厚木市体育協会設立
公共図書館の広域利用サービス開始(8市
1町1村)
日枝老人憩の家オープン
- 4月 広報あつぎ4月1日号で創刊700号
消防本部に高規格救急車を配置
善明川の改修工事完了
簡易包装やリサイクルなどに協力する店
「スリムストア制度」スタート
- 5月 東町スポーツセンターオープン
中町地下道にエスカレーター設置
第1回かながわ童謡フェスティバル開催
交通渋滞対策会議設置
- 7月 荻野運動公園プールオープン
山際児童館・山際南部老人憩の家オープン
- 8月 中国揚州市から訪日団を迎え、友好都市
締結10周年記念式典
市民ギャラリーの入場者100万人を突破
ふれあいプラザの入場者100万人を突破
- 9月 平成10年国体に向け、ソフトボール競技
場建設工事着手
財務会計オンラインシステム稼働

- 10月 シティプラザ開館 10 周年記念式典
オンライン化により市役所連絡所での税証明等交付開始
- 11月 依知北公民館オープン
七沢自然教室の利用者 20 万人を突破

平成 7 年 (1995 年)

- 1月 阪神淡路大震災の救助活動に市職員を派遣
- 2月 厚木市制施行 40 周年記念式典
洋画家の伊藤佛三氏と藤江理三郎氏の 2 人に市民文化賞
市長選挙 山口巖雄氏が初当選
- 3月 障害者歯科診療所オープン
- 4月 上依知小学校と相川中学校が開校
七沢児童館、荻野児童館オープン
妻田東児童館・老人憩の家オープン
下津古久に県総合防災センターが完成
- 7月 消防署が厚木消防署と北消防署の 2 署体制となる
- 8月 かながわ・ゆめ国体厚木市実行委員会が設立
- 9月 厚木サテライトビジネスパーク完成
- 10月 国勢調査人口 208,627 人
厚木サテライトビジネスパークオープン
グリーンアイルあつぎ'95 上古沢緑地で開催
- 11月 戸室地区の一部の住居表示を実施 (戸室 1~5 丁目)
- 12月 緑ヶ丘公民館・児童館オープン

平成 8 年 (1996 年)

- 1月 透明・半透明ごみ袋の使用開始
- 2月 厚木市と海老名市を結ぶ「あゆみ橋」完成
- 3月 国道 412 号 (上荻野バイパス) が全線開通
総合福祉センターの利用者 100 万人を突破
- 4月 市役所機構改革に併せて民間ビル (ルリエ本厚木) を借り上げ「第 2 庁舎」とする
妻田西老人憩の家、荻野久保老人憩の家オープン
- 5月 玉川公民館新築移転オープン

- 厚木リサーチセンターがオープン
- 6月 市内最高者、大谷しな氏 106 歳を迎える
- 7月 県央やまなみ地域大規模災害時における相互応援協定を締結
埼玉県狭山市と防災姉妹都市を締結
- 8月 厚木市ホームページを開設
- 9月 21 万人目の市民誕生
- 10月 婦人会館の利用者 100 万人を突破
- 11月 南毛利公民館新築移転オープン
情報プラザ (厚木アクスト 2 階) オープン

平成 9 年 (1997 年)

- 2月 温水地区の住居表示を実施 (温水西 1~2 丁目)
- 3月 北消防署に市内で 2 台目の高規格救急車を配置
国から業務核都市基本構想の承認を受ける
- 4月 「容器包装リサイクル法」施行
厚木中央公園全面オープン
下古沢児童館オープン
- 5月 市営及川球技場オープン
- 6月 厚木伊勢原ケーブルネットワークがサービスを開始
第 53 回国民体育大会弓道競技リハーサル大会開催
市営猿ヶ島スポーツセンターオープン
- 7月 中央図書館新装オープン
- 8月 第 53 回国民体育大会ソフトテニス競技リハーサル大会開催
- 9月 第 53 回国民体育大会ソフトボール競技リハーサル大会開催
- 10月 かながわ・ゆめ国体プレイベント開催
- 11月 市営南毛利テニスコートオープン
新衛生プラント稼働開始
上荻野地区の一部の住居表示を実施 (まっかげ台・みはる野 1~2 丁目)

平成 10 年 (1998 年)

- 1月 市役所連絡所土曜・日曜開所
市内で大雪
- 4月 総合計画「あつぎハートプラン」スタート
市内最高齢者、伊藤カク氏 104 歳を迎える

- 5月 勤労福祉センター旭町2丁目へ移転（旧
県厚木青少年会館）
ボランティア活動サポート室オープン
- 6月 旧岸邸の寄贈を受ける
- 7月 本厚木駅北口自転車等駐車場オープン
- 9月 子育て支援センターオープン
- 10月 かながわ・ゆめ国体炬火リレー、市内を走
る
かながわ・ゆめ国体秋季大会開催
- 11月 厚木市郷土資料館オープン
温水、飯山及び中荻野地区の一部の住居表
示を実施（緑ヶ丘5丁目）

平成11年（1999年）

- 2月 マイタウンあつぎ情報システムがスター
ト
市長選挙 山口巖雄氏が再選
- 3月 地域振興券の交付開始
- 4月 森の里公民館・児童館オープン
厚木市公用レンタルサイクル稼働
地区市民センター設置
あつぎ子ども未来計画スタート
公共施設無休化スタート
厚木市古民家岸邸開館
国道412号バイパスに新規バス路線開設
移動子育てサロン開設
- 6月 図書館情報システムがスタート
夕焼け市がスタート
- 9月 愛川町・清川村との住民票の相互交付開
始
- 10月 介護保険要介護認定受付開始
- 11月 庫裏橋開通

平成12年（2000年）

- 1月 コンピュータ2000年問題
- 3月 まちづくりシンボルマーク制定
- 4月 介護保険制度スタート
地方分権一括法施行
ぼうさいの丘公園オープン
- 5月 資源化センター「しげん再生館」稼働開
始
- 6月 厚木市が湘南ベルマーレのホームタウン
の一つになる

- 7月 荻野新宿老人憩の家オープン
- 10月 国勢調査人口 217,369人
障害者生活支援センターオープン
- 11月 北消防署新庁舎オープン
及川及び妻田地区の住居表示を実施（及川
1～2丁目・妻田西3丁目一部編入）
和田傳生誕100周年記念事業開催

平成13年（2001年）

- 1月 21世紀スタート
中央省庁再編成、1府12省庁となる
- 2月 愛川町・清川村と「厚木愛甲ごみ処理広
域化準備室」の設置に関する協定を締結
林地区の住居表示を実施（林1～5丁目）
- 3月 戸籍のコンピュータシステム始まる
- 4月 生涯学習出前講座の開始
消費生活センターオープン
サイクルアドバンスライドスタート
スポーツ予約システムが携帯電話でも可能
になる
厚木市と医師会が防災時の医療技術行動に
関する協定締結
ほほえみ広場オープン
- 5月 上荻野小学校の給食調理場が使用開始
- 6月 携帯電話で広報あつぎの行政情報提供開
始
成田空港行直行バスの運行開始
- 8月 愛の一声ごみ収集事業スタート
2001あつぎハーモニカフェスティバル開
催
- 9月 厚木商工会議所新会館オープン（改築）
厚木第二小学校の給食調理場が使用開始
- 10月 ファミリー・サポート・センター開所
消費生活センターが厚木商工会議所内に移
転
- 11月 温水・恩名児童館、老人憩の家オープン
- 12月 特例市の指定を受ける

平成14年（2002年）

- 2月 土曜・日曜戸籍証明書の発行開始
- 4月 特例市としてスタート
愛川町・清川村との公共施設相互利用スタ
ート

- 22 万人目の市民誕生
携帯電話（i モード）による医療機関情報サービスの開始
- 5 月 飯山小学校、依知小学校の給食調理場が使用開始
- 6 月 携帯電話の電子メールを活用した職員緊急連絡システムの運用開始
- 7 月 厚木市徘徊高齢者位置情報検索サービスの開始
第 4 回アジア太平洋ハーモニカ大会 2002 厚木を開催
- 8 月 住民基本台帳ネットワークシステムの稼働
- 9 月 審議会等の会議録のインターネット等による公開の開始
- 10 月 環境センターでの日曜に家庭ごみ持ち込みの受け入れを開始
厚木アクトにインキュベーションルームがオープン
- 11 月 無線 LAN 実証実験スタート
総合福祉センターにふれあいパソコン広場オープン
- 12 月 年末年始市営スポーツ施設（10 施設）無料開放

平成 15 年（2003 年）

- 2 月 市長選挙 山口巖雄氏が再選
- 4 月 厚木市立病院オープン
- 5 月 三田地区の住居表示を実施（三田南 1～3 丁目）
- 6 月 妻田小学校、荻野小学校の給食調理場が使用開始
- 8 月 住民基本台帳ネットワーク稼働
- 10 月 厚木市まちづくり条例施行
「第 9 回全国朝市サミット 2003 in あつぎ」開催
- 11 月 愛川町・清川村とごみ処理広域化協定を調印
第 1 回厚木市郷土芸能まつり開催
- 12 月 「IT のまちあつぎアクションプラン 50」を策定

平成 16 年（2004 年）

- 1 月 市制施行記念第 50 回県央厚木駅伝競走大会実施
- 2 月 住民参加型ミニ市場公募債「厚木まなび債」発行
- 3 月 情報の安全保護に係る方針「厚木市情報セキュリティポリシー」策定
- 4 月 教育改革プランスタート
厚木市地域福祉計画スタート
厚木市緑の基本計画スタート
南毛利学習支援センターオープン
厚木愛甲環境施設組合設置
- 5 月 都市再生緊急整備地域の指定を受ける
（本厚木駅周辺約 20ha）
北小学校の給食調理場が使用開始
- 6 月 地域再生計画（自然学習拠点整備による再生計画）の認定を受ける
- 7 月 文化会館リニューアルオープン（バリアフリー化 外部エレベータ設置）
- 8 月 消防本部で高機能消防通信指令システム導入
- 10 月 IT サービス「マイタウンクラブ」スタート
愛甲石田駅前連絡所を駅北口に移転
市立病院のオーダーリングシステム一部稼働
移動図書館車による病院へのサービス開始
- 11 月 新潟県中越地震救援活動に市職員を派遣
（被災建築物の危険度判定員・救急医療チーム）
- 12 月 愛甲児童館・老人憩の家オープン
第 1 回イルミネーションコンクール実施
県内初青色回転灯装着パトロール車導入

平成 17 年（2005 年）

- 1 月 企業等の誘致に関する条例制定
- 2 月 厚木市制施行 50 周年記念式典
本厚木駅北口広場にモニュメント時計「アユポ」設置
韓国軍浦市及び網走市と友好都市締結
友好都市サミット開催
電子市役所宣言
議会本会議場モニター放映開始（傍聴ロビー、市民ホール）
- 3 月 あつぎフィルム・コミッション協議会設立

- スーパーモデル地区の指定を受ける（本厚木駅周辺のバリアフリー化及び無電柱化）
- 4月 市役所機構改革に併せて、第2庁舎を民間ビル（厚木ビジネスタワー）へ移転
七沢自然教室から七沢自然ふれあいセンターに名称変更
市役所事務改善（電子決裁開始）
- 5月 第1回小江戸あつぎまつり開催
「都市水路計画策定モデル地区」の決定を受ける
放送大学神奈川学習センター厚木教室開校
緑ヶ丘小学校、上依知小学校の給食調理場が使用開始
- 6月 自動体外式除細動器（AED）を公共施設に設置
「マイタウンクラブ」と「図書館情報システム」連携開始
- 7月 市制施行50周年記念「あつぎ子ども会議」開催（議会本会議場にて）
依知南公民館オープン（依知公民館の移転及び名称変更）
女性消防団員任用
- 10月 国勢調査人口 222,403人
第1回あつぎ消防フェスティバル開催
- 11月 市制施行50周年フェスティバル開催
救急二輪車（赤バイク）運用開始
恩名地区の住居表示を実施（恩名1～5丁目）

平成18年（2006年）

- 2月 メジカルセンター市立病院（水引）に移転
- 4月 南毛利スポーツセンターオープン（県立県央地区体育センター市に移譲）
厚木環状2号線開通
市役所開庁時間が17時15分までとなる
厚木市東京事務所開設（千代田区平河町）
ワールド・ベースボール・クラシックで世界1位になった多村仁氏に市民功労表彰
- 5月 子育て支援ブック（父子手帳）配布開始
南毛利小学校の給食調理場が使用開始
- 6月 民間認可夜間保育所を開設
生涯学習講座「輝き厚木塾」開講
マタニティキーホルダーの作成配布
- 7月 子育て支援ヘルパー派遣開始

- 9月 広告掲載事業スタート（ホームページ等に民間広告）
- 10月 エンゼルサポート事業スタート
ペットへのマイクロチップ装着費助成開始
- 11月 本厚木駅北口に大型ビジョンを設置
オールテクノフェスタ2006開催
清水小学校の給食調理場が使用開始
- 12月 特定5路線開通「大井交差点ミニバイパス・相模川右岸堤防道路国道246号ランプ・厚木環状2号線（愛甲）・厚木環状3号線（愛名）・温水恩名連絡道路」

平成19年（2007年）

- 1月 市長選挙 小林常良氏が初当選
- 3月 東丹沢七沢温泉郷が森林セラピー基地に認定
上古沢緑地の愛称が「あつぎつつじの丘公園」に決定
- 4月 環境保全公社と都市整備公社が統合し環境みどり公社を設立
政策会議の結果などホームページ等で情報公開を開始
能登半島地震の被害を受けた石川県輪島市に、援助物資を届ける
中学校給食スタート
- 5月 三田小学校の給食調理場が使用開始
- 6月 「第2回B-1グランプリ in 富士宮」で厚木シロコロ・ホルモンが第5位になる
電設協会・造園業協会と災害協力協定を締結
- 7月 IT特区に認定
にぎわい処・番屋オープン
毛利台児童館・老人憩の家、岡田児童館・老人憩の家、三田老人憩の家オープン
- 8月 名誉市民の元厚木市長石井忠重氏が永眠事業の仕分けを初実施（37事業）
- 9月 熊野神社（愛甲）の石灯籠が市指定文化財に指定
名誉市民の元厚木市長石井忠重氏の厚木市民葬を実施
- 10月 厚木バイパス線開通
バイオディーゼル燃料を利用したごみ収集車1台が運行開始
- 11月 市営住宅から暴力団員を排除する改正条例

- を施行
12月 小鮎小学校の給食調理場が使用開始

平成 20 年 (2008 年)

- 1月 初めて新成人でつくる実行委員会が企画・運営した成人式を開催
2月 連節バスの運行スタート (厚木バスセンターから厚木アクト間)
愛甲、長谷のささら踊り盆唄保存会が「相模のささら踊り」県無形民俗文化財に指定
松石寺 (上荻野) の寺林の一部が県天然記念物に追加指定
3月 平塚市と公共図書館の相互利用開始
新総合計画策定フォーラム開催
新総合計画の策定に向け、市民と職員による協働検討会 (70 人) が 7 分野・123 項目の提言書を市長に提出
4月 子育て支援センター (もみじの手) リニューアルオープン
市民課と国保年金課で土曜日開庁がスタート
下川入にターゲットバードゴルフ場がオープン
5月 あつぎにぎわいアドベンチャー隊が発足し、28 人の大学生を任命
愛甲宮前ペDESTリアンデッキ (歩道橋) が完成
依知南小学校の給食調理場が使用開始
6月 中国・四川大地震の被災地へテント 40 張りを提供
セーフコミュニティ推進協議会が発足
市内 5 大学と包括協定を締結
7月 小児医療費の助成対象を 9 歳まで拡大
外部評価を初実施
厚木南老人憩の家オープン
8月 北京五輪開幕、女子ソフトボールが金メダル、女子サッカー 4 位入賞
愛名老人憩の家オープン
9月 北京五輪・女子サッカーで活躍した永里優季氏に市民功労表彰
中国揚州市の要請で、市の技術職員 5 人を派遣
10月 障害者総合相談室「ゆいはあと」リニューアルオープン

- 11月 「第 3 回 B-1 グランプリ in 久留米」で厚木シロコロ・ホルモンがゴールドグランプリ (優勝)
「あつぎにぎわい爆発フェスティバル」を初開催
北京五輪・ソフトボールで金メダルに輝いた厚木商業高校出身の三科真澄氏、山田恵里氏、西山麗氏に市民功労表彰

平成 21 年 (2009 年)

- 2月 定額給付金・子育て応援特別手当実施
4月 新総合計画「あつぎ元気プラン」スタート
市役所組織改正
睦合西公民館オープン
中国揚州市へ市民訪中団派遣
6月 10%プレミアム付き「あつぎ元気商品券」を発売
7月 コスモシアターオープン
9月 自治基本条例フォーラム開催
10月 ごみ減量化・資源化新システム開始
第二弾の「あつぎ元気商品券」を前回の倍の 6 万冊を発売
新インフルエンザ予防接種開始
市民協働事業提案制度で森の里地区乗合交通 (森の里ぐるっと) が事業開始
11月 本厚木駅連絡所リニューアルオープン
市営中町 1 丁目自転車駐車を有料化

平成 22 年 (2010 年)

- 1月 市立病院産科外来診療の再開
鳶尾小学校の給食調理場が使用開始
2月 網走市と災害時友好都市相互応援協定締結
県央相模川サミットを発足
あつぎ食ブランド誕生
3月 市ホームページ全面リニューアル
県道藤沢座間厚木線の一部と市道中津川左岸堤防道路が開通
アジア地域 WHO セーフコミュニティ認証センター (韓国) へ認証申請書を提出
公用車に電気自動車 1 台を導入
4月 歯科保健センターリニューアルオープン

- 荻野公民館新築移転オープン
あつぎ青春劇場オープン
- 5月 松沢成文県知事を迎え「あつぎ元気フォーラム」を開催
- 7月 小児医療費助成を9歳から小学生修了まで拡大
狭山市と「防災姉妹都市」の協定を締結
- 9月 関東で初開催の「第5回B-1グランプリ in 厚木」が開催、全国から43万5千人の来場者
- 10月 国勢調査人口 224,420人
友好都市締結5周年記念で「訪問団」が韓国軍浦市を訪問
- 11月 セーフコミュニティ認証取得
清水小学校がインターナショナルセーフスクール（ISS）を取得
- 12月 自治基本条例施行
市のマスコットキャラクター「あゆコロちゃん」誕生

平成23年（2011年）

- 1月 公用車に市内で開発された電気自動車2台追加導入
- 2月 市長選挙、小林常良氏が再選
- 3月 地球温暖化対策実行計画を策定
11日午後2時46分に東日本大震災が発生
市内は、震度5弱を観測、小田急線が運行を停止、帰宅困難者が発生し7箇所の避難所を開設、避難中の転倒で負傷者1人、厚木サンパークで街路灯3箇所倒壊、ブロック塀3箇所倒壊の被害発生
義援金活動開始
七沢自然ふれあいセンターなどで避難者の受け入れ
被災地へ職員派遣、支援物資の搬送を開始
東京電力の計画停電が開始、市内公共施設の利用や行政サービスを制限する
南毛利中学校北棟校舎完成
- 4月 東日本大震災の影響で緑のまつり中止、その他のイベント・行事が中止、延期される
- 5月 毛利台小学校の給食調理場が使用開始
- 6月 国の節電目標を上回る20%の節電目標を設定（市役所本庁舎、第二庁舎は、さらに

- 厳しく目標25%）
東日本大震災支援基金と災害対策基金を設置
市内の小中学校など22箇所の放射線量の測定を開始
- 7月 こども医療費助成を小学生修了から中学校卒業まで拡大
FIFA女子ワールドカップドイツ2011の優勝をたたえて日本代表選手の永里優季氏に特別表彰
地上アナログ放送が終了、地上デジタル放送に移行
学校給食用食用食材の放射能濃度の測定を開始
- 8月 第65回あつぎ鮎まつりを開催（花火大会は延期）
自治体の災害対応力調査（日経グローバル）で全国289市区中6位となる
中国揚州市から芸術団「柳の糸」来厚、芸術コンサートを開催
- 9月 県央地域8市町村（相模原市、厚木市、大和市、綾瀬市、海老名市、座間市、愛川町、清川村）で災害協定を締結
- 10月 相川小学校で「放課後子ども教室」開催
- 11月 延期した花火大会をあつぎ国際大道芸と併せて開催
- 12月 自治体の経営革新度調査（日経グローバル）で全国809市区中2位となる

平成24年（2012年）

- 1月 暴力団排除条例施行
- 2月 ローザンヌ国際バレエコンクールで厚木市の菅井円加氏が優勝、特別表彰を授与
市内事業者3社（（株）ジャパンニューアルファ、（株）レンブラントホテル厚木、（株）リラフル）と災害協定を締結
- 3月 あつぎ映画祭開催
- 4月 市民参加条例施行
新斎場が完成・使用開始
市役所組織改正
第5次行政改革始まる
市で使用しなくなった消防車、救急車の2台をモンゴルに寄贈
- 5月 市内小中学校等で金環日食を観測

- 厚木市議会主催の第1回議会報告会開催
厚木市農業協同組合と災害協定を締結
- 7月 ロンドン五輪・女子サッカーなでしこジャパンの全試合のパブリックビューイングを開催
平成19年から進めた鳥獣防護柵25kmが完成
市営中町2丁目自転車駐車場がオープン
民間事業者のメガソーラー（太陽光発電施設）の市内立地を誘致
- 8月 市の公式フェイスブックページを開設
納税コールセンターを開設
厚木地下道中町線が深夜の通行を停止
- 9月 公共施設の使用料を変更する
ロンドン五輪女子サッカーで銀メダルを獲得した永里優季氏に特別表彰
- 10月 市民協働推進条例・セーフコミュニティ推進条例施行
「かながわフードバトル in あつぎ」で「かなキャラ大集合」、「あつぎスイーツランド」を同時開催
- 11月 愛甲地区の住居表示を実施（愛甲東1～3丁目、愛甲1～4丁目、愛甲西1～3丁目）
七沢地区でマイクロ水力発電施設を設置
あつぎものづくりブランド交流会を開催
厚木市企業立地フォーラムを東京丸の内（東京エムプラス）で開催
あゆコロちゃんが「ゆるキャラグランプリ2012」で全国第9位になる
- 12月 市内事業者2社（東名厚木健康センター湯の泉、タイヨー（株））と災害協定を締結

平成25年（2013年）

- 1月 あつぎ街かど大道芸スタート
- 2月 帰宅困難者対策訓練実施
9市2町がさがみロボット産業特区に指定
- 3月 緑ヶ丘小学校と戸田小学校がエコスクールの認証校に決定
神奈中バス「妻田そりだ線」が開通
圏央道あつぎウォーク2013開催
圏央厚木インターチェンジが開通
東日本大震災支援基金受付終了
(33,113,904円)

- 4月 アクロスプラザ厚木インター（ヨークマートほか）が完成
- 5月 「あつぎものづくりブランドプロジェクト」が発足
相模川河川敷に相模川ローズガーデンがオープン
- 6月 市立病院建て替え事業地から地中障害物が出る
- 7月 上古沢にメガソーラー「県央厚木第一発電所」が完成
青山修子氏がウィンブルドン女子ダブルスで4強
- 8月 「こども自転車神奈川県大会」で清水小学校が優勝、緑ヶ丘小学校が準優勝
全国大会では清水小学校が8位になる
- 10月 「全国朝市サミット2013inあつぎ」開催
- 11月 日産自動車（株）と「グリーンモビリティ・プロジェクト協定」を締結
女流義太夫の林ミチコ（芸名：竹本土佐子）氏に市民文化彰
清水小学校がインターナショナルセーフスクールを再認証
ごみ中間処理施設建設で金田地区と基本協定締結
あゆコロちゃんが「ゆるキャラグランプリ2013」で全国第6位に躍進
（仮称）厚木都市計画事業「厚木市森の里東土地区画整理事業」で土地区画整理組合設立準備委員会と業務代行予定者が基本協定を締結
- 12月 （仮称）あつぎ元気館の新名称は「アミュールあつぎ」に決まる
10の条例がすべて施行される。
（観光振興条例、公契約条例、子ども育成条例、里地里山保全促進条例、自転車安全利用促進条例、市民協働推進条例、住民投票条例、セーフコミュニティ推進条例、暴力団排除条例、文化芸術振興条例）
客引き行為等防止条例を制定

平成26年（2014年）

- 1月 超小型モビリティの実証実験として、日産ニューモビリティコンセプト1台を玉川グリーンホームでの訪問介護スタッフの移

- 動手段として活用
- 2月 自治体の経営革新度調査（日経グローバル）で、全国 812 市区中 1 位となる
2 週続けて 45 年振りの記録的な大雪
- 3月 北消防署依知分署が開署
相川小学校が市内 3 校目となるエコスクールの認証校に決定
- 4月 客引き行為等防止条例施行
上戸田児童館新築移転オープン
アミューあつぎオープン
- 5月 本厚木駅東口大規模改修終了、本厚木ミロードイストがオープンし、あゆコロちゃんのブロンズ像が設置
アミューあつぎを拠点に幼稚園送迎ステーション事業を開始
- 6月 市制 60 周年を記念し、あゆコロちゃんラッピングバスの運行開始
市内 19 地区をセーフコミュニティ推進地区に指定
圏央道相模原愛川インターチェンジ～高尾山インターチェンジ間が開通、厚木パーキングエリアに商業施設が開業
清川村と消防の事務委託に関する規約を締結
市制 60 周年記念「NHK のど自慢」を公開放送
- 8月 婚姻届記念証書の贈呈サービスを開始
20 年ぶりに相模川の鮎つかみ取りが復活
神奈川電力（株）、オリックス（株）の 2 者と「太陽光発電所と連携した公共施設のクリーン電力化（地産地消モデル）に関する協定」を締結
市内の大規模太陽光発電施設（メガソーラー）で発電した電力を、市内 15 公民館で使用
「第 1 回あつぎ子ども議会」開催（議会本会議場にて）
- 10月 市制 60 周年に向けたカウントダウンを開始
新あつぎ市民健康体操（あゆコロちゃん体操）誕生
揚州市で友好都市締結 30 周年記念式典が開催され、51 人の市民団が訪問
- 11月 厚木市剣道連盟創立 60 周年を記念して

- 「あつぎ国際剣道祭」開催
あゆコロちゃんが「ゆるキャラグランプリ 2014」で全国 9 位（3 年連続トップ 10、4 年連続県内 1 位）と健闘
森の里東土地地区画整理組合が設立され整備開始（約 68.0ha）
- 12月 平成 27 年度の全面オープンの前に「(仮称) 健康の森」の体験見学会を開催
久保奨学金基金条例を制定

平成 27 年（2015 年）

- 1月 厚木市議会が「通年会期制」を導入
- 2月 厚木市制施行 60 周年記念式典
市民自治のシンボルとするため、あつぎ市民ふれあい都市宣言
市長選挙 小林常良氏が再選
- 3月 相川中学校が環境教育の国際認証「グリーンフラッグ」を国内の中学校で初めて取得
- 4月 総合計画「あつぎ元気プラン」第 2 期基本計画がスタート
- 5月 県内初となる全国都市教育長協議会の定期総会、研究大会を市内で開催
本厚木駅南口の再開発を都市計画決定
- 6月 市制 60 周年記念「開運なんでも鑑定団、出張なんでも鑑定団 in 厚木」が文化会館で開催
- 7月 FIFA 女子ワールドカップカナダ 2015 の準優勝をたたえて日本代表選手の永里優季氏と永里亜紗乃氏を特別表彰
元日本代表選手のドリームチームを招いた市制 60 周年記念「はつらつママさんバレーボール in あつぎ」を開催
本厚木南口再開発の準備組合と「公共施設の整備に関する基本調定」を締結
- 8月 長崎市から送られた被ばく樹 2 世のクスノキを厚木中央公園に植樹
市と県が共催する広域的防災訓練「ビックレスキューかながわ」が総合防災センターを中心に市内各地で実施
- 9月 厚木シロコロホルモン探検隊をあつぎ元気大使に委嘱
「肉ホルモンフェス ATSUGI2015 秋」が厚木中央公園で開催

- 10月 国勢調査人口 225,714人
市制60周年記念「大相撲厚木場所」が開催
マイナンバーの通知が開始
- 11月 セーフコミュニティの再認証を取得
荻野運動公園で「おんぶで100メートルリレー」でギネス世界記録に挑戦し記録を達成
- 12月 第6次行政改革大綱「あつぎ行政経営プラン」を策定
日本体育大学と「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結

平成28年(2016年)

- 1月 マイナンバーの個人番号カードを利用し全国のコンビニエンスストア端末で住民票の写しなどが取得できる証明書自動交付サービス開始
東京オリンピック・パラリンピックの参加国と交流するホストタウンに登録
- 2月 厚木市空家等対策協議会を設置・開催
JAF神奈川支部と観光協定を締結
アミューあつぎで「小学生ロボット・バトル・トーナメント」が初めて開催
- 3月 相川保育所で、初のグリーンフラッグ認証を取得し、全グリーンフラッグ認証11校のうち全国最多の5校を市内の学校が占める
さらに相川地区は地区内の保育所と小中学校全てが認証を受けた日本初の地域となる
「あつぎこどもの森公園」が開園
- 4月 厚木・清川消防広域化がスタートし、新たに清川分署を開設
熊本地震で全国朝市サミット協議会の同じ会員である熊本市益城町に支援物資を搬送、被害状況と支援内容を把握するため職員3人と応急危険度判定士の資格を持つ職員2人を派遣
戸田小学校が「子どもの読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受賞
- 5月 本厚木駅南口地区市街地再開発組合の設立が認可される
「あつぎホストタウン交流大使」としてニュージーランド人のステファン・ミルン氏とスコット・ピアース氏を委嘱
- 6月 厚木観光漁業協同組合と観光協定を締結
「スーパーフォミュラ in アミューあつぎ」を開催
交通安全の自転車シミュレーターを導入
- 7月 選挙権年齢の引き下げに合わせて参議院議員通常選挙で神奈川工科大学に期日前投票所を新設
- 8月 相模川第二漁業協同組合と観光協定を締結
ラグビー・元ニュージーランド代表(オールブラックス)のポール・ミラー氏を新たに「あつぎホストタウン交流大使」として委嘱
あつぎ鮎まつりが70回を迎える
第2回あつぎ子ども議会開催
- 9月 「いきものがかり」が荻野運動公園で凱旋ライブを開催、2日間で5万人を動員
- 10月 子どもの定期予防接種にB型肝炎が追加
依知地区の住居表示を実施(下依知1~3丁目)
「ふるさと納税制度」の返礼品を充実して大幅にリニューアル
- 11月 電柱設置の防犯灯をLED照明に交換開始
市立病院の第2期工事が完成し、全ての医療機能が稼働
清水小学校がインターナショナルセーフスクールの3回目の認証
- 12月 女子15人制ラグビー日本代表(サクラフイフティーン)の強化合宿を受け入れる

平成29年(2017年)

- 1月 (株)レンブラントホテル厚木と防災井戸に関する災害協定を締結
「いきものがかり」が活動休止
- 2月 厚木市空家等対策計画を策定
厚木市民朝市が2000回を迎える
県土地家屋調査士会と災害協定を締結
- 3月 東京五輪でキャンプ誘致目指すニュージーランド女子ラグビー選手が初来厚
保健センター機能を総合福祉センターに統合した保健福祉センターオープン
県弁護士会、司法書士会、宅建協会県央支部、全日本不動産協会県央支部と空き

家等対策に関する協定を締結
ワールド・ベースボール・クラシックに出
場した田中広輔選手を応援するためパブリ
ックビューイングを開催

- 4月 厚木南公民館新築移転オープン
厚木郵便局と災害協定を締結
本厚木駅連絡所に電子看板（あつナビ）を
設置
- 5月 県内初の高齢者タクシー助成を開始
- 6月 森の里東土地区画整理事業のA工区が完成
- 7月 大規模災害に備え、最新型の無線機「ハザ
ードトーク」を配備
災害対策用ドローンの運用開始
全市立小中学校にタブレット端末を導入
マイナンバーカードを活用したオンライン
サービス「マイナポータル」の運用開始
糸満市小学生訪問団が初来厚
- 8月 相模川河川敷で手ぶらバーベキューを実証
実験
ホストタウン・ニュージーランドを知る
「NZカルチャーキャンプ」を開催
厚木青年会議所、厚木市社会福祉協議会と
災害協定を締結
- 10月 衆議院議員選挙の投開票日に台風21号が
直撃
厚木市農業協同組合と移動販売車を用い
た買い物支援協定を締結
- 11月 酒井土地区画整理事業で土地区画整理組
合設立準備委員会と業務代行予定者が基
本協定を締結
厚木市自治会連絡協議会が地方自治法施
行70周年記念総務大臣表彰を受賞
- 12月 厚木市立病院全面オープン
新東名あつぎウォーク開催

平成30年（2018年）

- 1月 新東名高速道路厚木南インターチェンジ～
海老名南ジャンクション間が開通
- 3月 市道赤坂竹ノ内線が開通
（株）モンベルとアウトドア活動等の促進に
関する包括協定を締結
- 4月 東京オリンピック・パラリンピックにおけ
るホストタウンであるニュージーランドと

教育交流の党書を締結

保健福祉センター北側に企業・大学の送迎
バスやツアー観光バスが利用できる大型バ
スの発着場が完成

- 6月 全ての市立小・中学校でコミュニティ・ス
クールがスタート
- 7月 本厚木駅前電子看板（デジタルサイネー
ジ）「あつナビ」を設置
「あつぎ市民交流プラザ」の貸館利用者が
150万人を突破
- 8月 沖縄県糸満市と友好都市を締結
公衆無線LANサービス「Atsugi Free
Wifi」がスタート
7月豪雨災害で被災した岡山県倉敷市に災
害廃棄物処理のため市職員と収集車両派遣
- 9月 厚木市新庁舎整備基本構想を策定
- 10月 県内初となる電子ペーパー端末機を導入
新たな洪水ハザードマップを全戸配布
- 11月 厚木市文化会館が開館40周年
第9回アジア地域セーフコミュニティ会議
厚木大会を開催
妻田小学校がインターナショナルセーフス
クールを認証、睦合東中学校が再認証
「いきものがかり」が活動再開
- 12月 日本経済新聞社・日経DUAL「共働き子育て
しやすい街ランキング2018」で全国3位と
なる
アミューあつぎの映画館が「あつぎえいが
かんkiki」としてリニューアルオープン

平成31年・令和元年（2019年）

- 1月 市内初の総合博物館「あつぎ郷土博物館」
オープン
- 2月 ニュージーランドバスケットボール協会
とキャンプ誘致に関する基本合意書を締
結
市長選挙、小林常良氏が再選
- 3月 金田東老人憩の家・金田児童館オープン
荻野運動公園競技場リニューアルオープ
ン
新東名高速道路厚木南インターチェンジ
～伊勢原ジャンクション間が開通
- 4月 消防本部に拠点機能形成車を導入、高度救
助隊を発足

- 5月 ニュージーランドゴルフ協会とキャンプ誘致に関する基本合意書を締結
新元号「令和」の始まりを記念して「出生届記念証」「婚姻届記念証」を発行
(株)レンブラントホテル厚木と包括協定を締結
- 6月 第10次総合計画策定に向けた市民検討会議が発足
- 8月 本厚木駅に続き、愛甲石田駅に電子看板「あつナビ」を設置・運用開始
第10次総合計画策定に向けたワークショップを開催
あさひ公園地下に雨水貯留施設が完成
- 9月 酒井土地区画整理組合の設立を認可
日本郵便(株)と包括協定を締結
- 10月 三田地区の住居表示を実施(三田1~3丁目)
日産自動車(株)と災害協定を締結
ニュージーランド車いすラグビー協会とキャンプ誘致に関する基本合意書を締結
台風19号が上陸し、相模川が氾濫危険水位に達するほか、城山ダム緊急放流を実施
- 11月 揚州市で友好都市締結35周年記念式典が開催され、37人の記念訪問団が訪問
厚木市立病院が第63回神奈川建築コンクール一般建築物部門でアピール賞を受賞
あつぎ市民交流プラザの利用者が20万人を突破
清水小学校がインターナショナルセーフスクールの4回目の認証
厚木あゆ種苗センターのアユ中間育成施設が完成
- 12月 中華人民共和国湖北省武漢市において、令和元年12月以降、新型コロナウイルス関連肺炎の発生が複数報告

令和2年(2020年)

- 1月 第10次総合計画策定に向けた市民検討会議から、提言書を市長に提出
- 2月 あさひ公園がリニューアルオープン
新わかあゆ号の運行開始
ニュージーランドサッカー協会とキャンプ誘致に関する基本合意書を締結

- 3月 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、小中学校の臨時休校と公共施設を休館
各公民館において、除菌水の配布を開始
議会第1回会議(2月定例会)の一般質問が中止
東京オリンピック開催の1年延期が決定
新公共施設予約システムの運用開始
- 4月 防災ポケットブックを全戸に配布
旧荻野公民館跡地に地域包括支援センターと障がい者相談支援センターを併設し、リニューアルオープン
旭町2丁目自転車等駐車場がオープン
新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による緊急事態宣言が発令
- 5月 厚木医師会及び厚木保健福祉事務所と連携し、PCR検査センターを開設
「#厚木エール飯」で市内飲食店を応援
NPO法人と協力し、市内の大学生らに食品を無償で提供
特別定額給付金(新型コロナウイルス感染症緊急経済対策)申請書を発送
- 6月 森の里東土地区画整理事業のB工区が完成
あつぎ郷土博物館の来館者が5万人達成
- 8月 あつぎキャンペーン事業で、プレミアム付あつぎ観光券及びあつぎ観光クーポン券を発行
- 9月 大手住宅情報サイトのコロナ禍で借りて住みたい街ランキングにおいて、「本厚木」が第1位を獲得
圏央道厚木PAスマートインターチェンジが開通
- 10月 東京オリンピック開催のため10月開催としていた鮎まつりを中止
酒井土地区画整理事業開始(約27.6ha)
- 11月 市内飲食店を支援するため電子商品券を発行
- 12月 電子申請の推進等を加速していくため、デジタル化推進担当を設置市役所業務の一部にRPAを導入